



小平市東部地域の課題と今後の空き家対策について

川里春治議員(政和会)

小平市東部地域の課題について

質問 ①東部地域に新しい人が来る中、今までの地域コミュニティとどう結びつけていくか。
②花小金井武道館の今後はどうなるか。

市長 ①転入者に窓口で自治会の案内チラシを配付するほか、住宅開発事業者への自治会情報の提供など既存自治会への加入を促す取り組みを行っている。
②現在、耐震補強工事を完了し9月から利用を再開している。花小金井南中学校地域開放型体育館の供用開始後に、花小金井武道館の機能を一部移転した後、

閉鎖し、取り壊す予定である。

今後の空き家対策について

質問 ①市の空き家相談窓口の利用件数はどうなっているか。
②今後の空き家対策についての考え方、方向性は。

市長 ①29年7月に締結した専門家団体との協定における問い合わせは、8月末で1件である。
②引き続き空き家等の所有者等に適正な管理を促すことを主体とした取り組みを進めていく。また、空き家等実態調査の結果を踏まえ、庁内検討会議を通じ、利活用も含めた今後の総合的な対策の方向性を検討していく。



命の連鎖をつなぐ取り組みほか

小林洋子議員(フौरラム小平)

救命の連鎖をつなぐバイスタンダーをふやすには

質問 ①市内で救急救命の講習会は年に何回実施されているか。
②発災時、中学生の活躍が期待されるが、取り組み内容は。
③救命の連鎖を途切れさせないために市でできることは何か。

市長 ①小平消防署は263回、受講者1万2千511人。市は市民対象のAED講習会を2回、職員対象の講習会を6回実施した。
②自分の命だけでなくほかの人の命を守る役割があることを踏まえ、指導している。
③市民が正しい知識等修得できるよう消防署と連携する。

放置自転車等について

質問 ①放置自転車等の撤去台数及び撤去費用は。
②減らすための取り組みは。
③盗難自転車等については撤去費用を徴収しないよう対応すべきと考えるが見解は。

市長 ①28年度は3千6百44台、3千8百52万5千円である。
②市内7駅及び東大和市駅に自転車等放置禁止区域を指定している。また、7駅に駅頭指導員を配置し、ポスター掲示等啓発活動を実施している。
③費用の免除には撤去より前の盗難届け出等が必要である。



豪雨対策/子どもの読書活動推進と学校図書館の整備充実等

宮寺賢一議員(政和会)

豪雨による災害への対策について

質問 ①道路冠水歴や浸水被害のある場所の豪雨時の対応は。
②都市型水害等に備えた地域の水防演習の充実強化と小平消防署との連携体制は。

市長 ①あらかじめ職員を派遣し、雨水集水ますの詰まりを予防するための清掃を行っている。
②水防演習は、小平消防署との打ち合わせの中で内容を決定している。救出救助訓練等は毎年内容をアレンジすることで、防災力の充実強化を図っている。小平消防署とは適宜連絡を取り合い、人命救助活動が必要な場合は、出動の要請を行っている。

子どもの読書活動の推進と学校図書館の整備充実等について

質問 ①学校図書館が果たす役割についての認識は。
②第5次学校図書館整備等5か年計画の目的と市の対応は。

教育長 ①児童・生徒が読書に親しみきっかけとなる場であり、主体的な学習の場としての重要な役割等を担うと認識している。
②学校図書館図書標準の達成を目指すとともに、計画的な図書更新等を行うことが目的である。本計画の趣旨を踏まえ、引き続き学校図書館の充実に向けて取り組んでいく。



花小金井武道館の廃止は見直すべき

磯山亮議員(政和会)

花小金井南地域開放型体育館の建設にかかわる経過について

質問 ①花小金井武道館の存続を望む声が多くあるが、存続しないことを決定した理由は。
②花小金井南中学校地域開放型体育館建設に当たり、花小金井武道館廃止を撤回し新しい基本方針を策定すべきが見解は。

市長 ①公共施設マネジメントの観点から、閉鎖、取り壊し、機能の一部を移転することにした。武道館の敷地は都市計画公園として決定されており、存続・建てかえは考えていない。
②花小金井武道館の閉鎖、取り壊しの撤回や新たな基本方針の策定は考えていない。

商業の振興を通じて、活気ある町をつくらう

質問 ①チャレンジショップ事業は、直接創業に結びつく効果の高い事業である。拡充してはどうか。
②創業支援、商業振興などの観点から、市でオリジナル移動販売車などを購入し、市民に貸し出してはどうか。

市長 ①応募機会の増などの改善を図っていることから、当面は事業の経過を見守っていく。
②店舗等を構え、地域に根差した起業の支援等を考えているため、購入は考えていない。



障がい者を含めたインクルーシブ防災/受動喫煙防止対策

山崎とも子議員(生活者ネットワーク)

障がい者を含めたインクルーシブ防災について

質問 ①防災倉庫の備品の中にコミュニケーションボードを準備しているか。
②災害時、トイレの問題は重要だが、視覚障害者や車椅子利用者には配慮はされているか。
③避難所において手話通訳者や要約筆記者の派遣要請に応じることが出来るか。

市長 ①関係機関と作製に向けて協議している。
②避難所運営の中で救護支援班を設け個別に相談を受ける等、要配慮者の不安解消に努める。
③できる限り早期に派遣でき

子どもが利用する公共施設における受動喫煙防止対策について

質問 ①たばこの健康被害について、子どもや妊婦へどのような影響を及ぼすと考えているか。
②子どもたちの利用頻度の高い公共施設や健康センターは喫煙スペースを設けているか。

市長 ①妊婦への影響では早産や低出生体重児などの誘因となること、子どもの受動喫煙では、乳幼児突然死症候群や呼吸機能の低下などにつながる要因があると捉えている。
②児童館及び健康センターは、喫煙スペースを設けていない。



健康都市宣言で健康施策の展開を/中学校に防災部の設置を

山岸真知子議員(市議会公明党)

健康都市宣言を生かし具体的な健康施策を展開しよう

質問 ①健康都市宣言は宣言文を策定し広報すべきだが見解は。
②市民が運動等に取り組むための環境づくりが必要だが、課題と今後の施策展開は。

市長 ①健康増進プランに掲げる目標等の達成が、健康都市の実現になるため、新たに宣言文を策定することは考えていない。
②運動習慣がない若年層等へのきっかけづくりなどが課題である。イベントなどの運動機会の提供とともに、こだ健体操の実践者ふやしロコモティブシンドローム予防に努めていく。

中学校に防災部を設置し地域の防災力向上を図ろう

質問 ①荒川区を例に中学校に防災部を設置する上での課題は。
②市が行う総合防災訓練に参加している中学生の現状は。

教育長 ①部活動は生徒の自主的な参加等で行われるべきで、教育委員会による全校一律の設置はその趣旨に沿わない。また、顧問の体制等にも課題がある。
市長 ②例年、小平スカウト協議会から、多数の小・中学生に参加してもらっている。総合防災訓練が、中学生の防災に関する意識及び知識の向上が図られる機会となるよう研究していく。



推進員制度の活用/たかの街道の安全管理と歩道の整備について

吉本ゆうすけ議員(フौरラム小平)

地域健康づくり推進員を初めとした推進員制度の活用について

質問 ①市民及び市が一体となって取り組むために、地域健康づくり推進員から出た意見等をどのように受けとめているか。
②推進員の募集について、申し込み期間の撤廃することや、定期的な広報活動を行うなど、柔軟に対応すべきだが見解は。

市長 ①全ての意見を取り入れるのではなく、健康施策を進める上で必要と判断したものを積極的に取り入れていく。
②今後の推進員の活動状況等も踏まえながら、募集期間の設定等について研究していく。

たかの街道を通る歩行者の安全管理と歩道の整備について

質問 ①たかの街道の安全対策で、今後検討していることは。
②歩道の段差をなくすことで、歩行者同士の譲り合いや車の避ける範囲が広がるなどの効果があると考えられている見解は。

市長 ①歩道において不要となった隣接地への乗り入れ部分を撤去し歩道の水平化を図るほか、注意喚起の看板設置等により道路の安全性の向上に努めていく。
②歩道と車道の段差によって、一定の安全性が確保されていると考えているが指摘の部分を含め適切な維持管理に努めていく。



▲小平市立花小金井武道館